

精神障がい者権利擁護システム事業 存続への取り組みのお礼とご報告

5月23日と6月2日に分け、合計1万8,203名の方々からいただいた「精神障がい者権利擁護システム事業（精神医療オンブズマン制度）の存続を求める緊急署名」を大阪府に提出しました。その後も、1000名以上の方からのご署名や、多数の方から「知事室へ要望書をFAX送付しました」とのご連絡をいただきました。毎日届く署名や同封して下さったお手紙に、何としても存続させなければいけない事業であることを再認識しました。本当にありがとうございました。

5月後半から6月にかけては、大阪府議会全ての会派（自由民主党、公明党、民主党・無所属ネット、日本共産党、府民ネットおおさか、豊中ネット、社会民主党クラブ、フロンティア大阪狭山）の議員と面談を行いました。その際には、事業の内容を説明し、さらに短期間にこれだけの署名を頂いたことでもわかるように、存続させるべき事業であることを伝えました。

7月3日には、全ての会派から紹介議員になっていただき、府議会あての「精神障がい者権利擁護システムの存続を求める請願書」を提出しました。この請願が採択されたとしても、最終判断は知事です。ただ、この請願書を提出できたということは、全ての会派が本事業を存続させるべきだと認識している証明になります。今後活かせるものと信じ、提出をしました。

まずは現状のご報告まで。

今後ともご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

2008年7月15日